

令和6年2月10日(土)イオン八事ショッピングセンターでのEプロ活動「名城大学薬学生とご家族と一緒に学ぼう!くすり実験教室」

(共催:特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO))

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすりの適正使用」や「薬物乱用の防止」に関する授業、体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。1月27日(土)に続いてご家族を対象として、2月10日(土)にイオン八事ショッピングセンター(4階 G.G イベントコーナー)にて、「名城大学薬学生と一緒に学ぼう!くすり実験教室」を名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称:Eプロ)の学生と共に開催しました。

イオン薬局八事店薬局長の山本真一郎先生のご尽力、またNPO J-DOの並河真紀子さんのご協力により同会場(4階 G.G イベントコーナー)にて「名城大学薬学生とご家族と一緒に学ぼう!くすり実験教室」を下記内容で開催しました。当日はご家族をはじめとした、延べ29名が来場されました。参加者からは、「知らないことが多くあり、勉強になりました」、「反応の違いを目で見ることができ、とても楽しかったです」、「くすりと一緒に飲まない方が良い飲み物があると知ることができて良かったです」などの感想を頂きました。

ブース入口に展示した市販の便秘薬に関するポスターに対しても「便秘薬の違いについて知ることができて良かった」など、好評でした。日常の薬に関する疑問や服用薬については、教員が丁寧に対応されていました。

Eプロの活動としては今年度最後となりました。来年度は身の周りの食品を実験に使用するなど、実験の内容をより身近に感じてもらえるよう工夫していきたいと思えます。

制作:Eプロ(名城大学薬学部病態解析学I:森川和那、野田幸裕)
薬品作用学(間宮隆吉)
監修:NPO J-DO



イオン八事ショッピングセンターにおける「くすり実験教室」

日時:令和6年2月10日(土)11時00分-14時00分

場所:イオン八事ショッピングセンター(4階 G.G イベントコーナー)

内容:

・「体験実験」

コーナーを4テーブル設置し、5つの実験を体験できるブースを用意しました。Eプロの薬学生(5年生3名、4年生5名)は、実験目的の説明などを行いました。来場者からの質問にも丁寧に対応するよう努め、非常に貴重な学びとなりました。イオン薬局八事店薬局長の山本真一郎先生、名城大学薬学部 野田幸裕教授(NPO J-DO 副理事長)、間宮隆吉准教授(NPO J-DO 理事)には、集客や実験が円滑に進められるように助言をしていただきました。

<実験項目>

①薬の溶ける工夫(飲みやすさ)

②薬と飲食物との関係(相互作用)

実験1:コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ?

実験2:水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる?

実験3:シロップの「くすり」と「お茶」を一緒に飲むとどうになってしまうの?

実験4:「うがいぐすり」でうがいをした後に、

すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの?

実験5:オレンジジュースで胃痛を和らげる「くすり」を飲むと

どうになってしまうの?

